

試験ガイド

Registered Management Consultant

第1次試験

◆8月

企業経営やコンサルティングに関する基本的な知識を問う試験

1次試験は、**中小企業診断士に必要な知識を有するかどうかを判定することを目的**とし、マークシート形式により行なわれます。なお、他の国家資格の合格者などに対しては、申請により試験科目の一部免除が認められています。

- 試験実施科目
7科目
- 試験問題形式
マークシート形式による多肢選択式
※四肢択一または五肢択一

●1次試験概要

受験資格	年齢・性別・学歴等に制限はなし		
試験実施日	8月上旬（2012年度は8月4日（土）、5日（日）（2日間））		
試験科目	試験科目		時間 配点
	1日目	午前 A. 経済学・経済政策	60分 100点
		B. 財務・会計	60分 100点
		午後 C. 企業経営理論	90分 100点
		D. 運営管理（オペレーション・マネジメント）	90分 100点
	2日目	午前 E. 経営法務	60分 100点
		F. 経営情報システム	60分 100点
		午後 G. 中小企業経営・中小企業政策	90分 100点
実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・那覇（2012年度）		
合格発表	9月上旬（2012年度は9月4日（火））		
合格基準	①	総点数による合格基準	総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。
	②	科目ごとによる合格基準	科目合格基準は、満点の60%を基準として、試験委員会が相当と認めた得点比率とする。
合格の有効期間	●1次試験合格（全科目合格）の有効期間は2年間（合格年度とその翌年度まで2次試験を受験できる） ●1次試験合格までの科目合格の有効期間は3年間（翌年度と翌々年度まで合格した科目を免除申請できる） ※3年以内に7科目のすべてに合格することで1次試験合格となります。 ※2年目以降も、残りの受験（非免除）科目における「総点数による合格基準」を満たすことで1次試験合格となります。 ※科目合格は、1次試験合格となった時点で、それまでの科目合格による受験免除の権利はなくなります。		
受験料	13,000円（税込）（2012年度）		

第2次試験

合格

◆筆記試験〈10月〉＋口述試験〈12月〉

企業の問題点や改善点などに関して解答する筆記試験と面接試験

2次試験は、**中小企業診断士に必要な応用能力を有するかどうかを判定することを目的**とし、中小企業の診断及び助言に関する実務の事例並びに助言に関する能力について、筆記および口述の2段階の方法により行なわれます。

- 試験実施科目
《筆記》4科目
《口述》筆記試験出題内容をもとに4～5問出題
- 試験問題形式
《筆記》各設問15～200文字程度の記述式
《口述》10分程度の面接

●2次試験概要

筆記試験	受験資格	1次試験合格者 ●1次試験合格（全科目合格）年度とその翌年度に限り有効 ●2000年度以前の1次試験合格者は1度に限り有効			
	試験実施日	10月中旬～下旬（2012年度は10月21日（日））			
	試験科目	試験科目	時間	配点	
		午前	【事例Ⅰ】組織（人事を含む）を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
			【事例Ⅱ】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
午後		【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点	
	【事例Ⅳ】財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点		
実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡（2012年度）				
筆記試験結果発表	12月上旬（2012年度は12月7日（金））				
口述試験	受験資格	当該年度の2次筆記試験合格者 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、翌年に持ち越すことはできません。			
	試験実施日	12月中旬（2012年度は12月16日（日））			
	実施方法	中小企業の診断及び助言に関する能力について、筆記試験の事例などをもとに、個人ごとに面接			
	実施時間	約10分間			
	実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡（2012年度）			
	合格発表	12月下旬～1月上旬（2012年度は2012年12月26日（水））			
	合格基準	筆記試験における総点数の60%以上で、かつ1科目でも満点の40%未満がなく、口述試験における評定が60%以上であることを基準とする。			
合格の有効期間	2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける必要がある。				
受験料	17,200円（税込）（2012年度）				

◎中小企業診断士登録までの道のり

中小企業診断士になるまでには、1次試験、2次（筆記・口述）試験、実務補習・実務従事の3段階のステップがあります。

※当案内は2011年度試験実施例を基に作成しています。試験要項は、例年試験実施年度の4月上旬～5月上旬に発表されます。

実務補習・実務従事

登録

◆2月・3月・7月・8月・9月

コンサルティングの実践

実務補習・実務従事は、**中小企業診断士として診断実務能力を有するかを実務を通して判断することを目的**とし、第2次試験合格後、3年以内に実務補習を15日以上受けるか、実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士としての登録の申請を行なうことができます。

●実務補習・実務従事概要

（1）実務補習

①登録実務補習機関による実務補習

受講資格：中小企業診断士第2次試験合格者の中で、3年を経過していない方。

実施期間／実施地区 （2012年度例）	札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡
2/ 2（木）～2/13（月） （5日間コース）	—	—	○	—	○	○	—
2/ 3（金）～2/13（月） （5日間コース）	○	○	—	○	—	—	○
2/ 2（木）～3/12（月） （15日間コース）	—	—	○	—	○	○	—
2/ 3（金）～2/13（月） （15日間コース）	○	○	—	○	—	—	○
7/ 5（木）～7/17（火） （5日間コース）	—	—	○	○	—	—	—
7/ 6（金）～7/17（火） （5日間コース）	○	○	—	—	○	○	○
8/17（金）～8/27（月） （5日間コース）	—	—	○	○	○	—	—
9/ 7（金）～9/18（火） （5日間コース）	○	○	○	○	○	○	○

※5日間コースを受講される場合には、第2次試験合格後3年以内に3回受講する必要があります。

■実務補習の標準的な流れ（5日間コース例）

実施約1週間前	指導員からメールにて、企業概要の提示や事前準備作業の指示
第1日目～第4日目	グループ別打ち合わせ、企業等の訪問・調査、資料分析、診断報告書の作成など
第5日目	企業等への報告会など（修了証書発行）

※5日間コースは1企業（等）、15日間コースは3企業（等）の実務補習を行う。

②受講手数料 5日間コース……………50,000円（税込）
15日間コース……………150,000円（税込）

③中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務補習

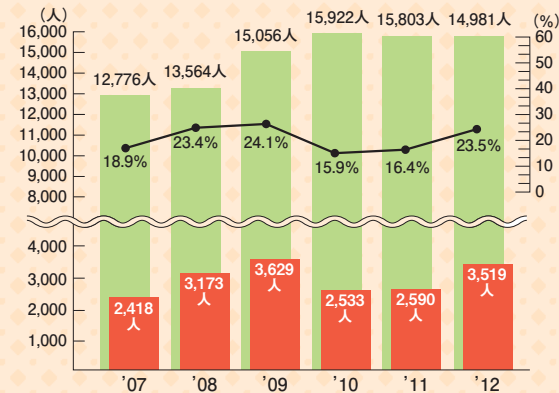
（2）実務従事

- ①国・都道府県等、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務
- ②中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談等の業務
- ③中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談等の業務
- ④その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談等の業務
- ⑤中小企業の振興に関する国際協力等のための海外における業務

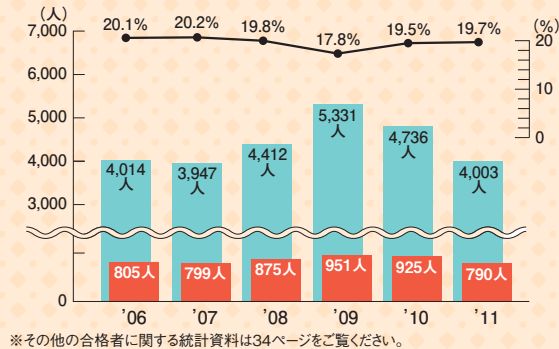
受験者数・合格者数・合格率の推移

%＝合格率
＝1次試験受験者数
＝合格者数
＝2次試験受験者数

第1次試験



第2次試験



※その他の合格者に関する統計資料は34ページをご覧ください。

■他資格等保有による免除対象者（ダブルライセンスに有利）

科目免除	科目免除対象者（2012年度試験実施例）
経済学・経済政策	大学等の経済学の教授・准教授・旧助教授（通算3年以上）
	経済学博士
	公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者
財務・会計	不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者
	公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士補となる有資格者
経営法務	税理士、税理士法第3条第1項第1号に規定する者（税理士試験合格者）、税理士法第3条第1項第2号に規定する者（税理士試験免除者）、税理士法第3条第1項第3号に規定する者（弁護士または弁護士となる資格を有する者）
	弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者
経営情報システム	技術士（情報工学部門登録者に限る）、情報工学部門に係る技術士となる資格を有する者
	次の区分の情報処理技術者試験合格者（ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種）

※科目免除者および科目合格者は科目免除割引制度をご利用いただけます。詳しくは78ページをご覧ください。

試験・実務補習に関する問い合わせ

社団法人 中小企業診断協会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル

■TEL 03-3563-0851（代）

■ホームページ <http://www.j-smeca.jp/>

●試験要項は、例年4月上旬～5月上旬に発表されます。

戦略的カリキュラム

◎TACオリジナル「3回転方式」で合格を勝ち取る！

TACのカリキュラムは、「ストレート合格するための戦略的学習」を徹底的に分析して作られました。

TACが開発した「3回転方式」は、効果的に「覚える」「覚えなおす」「定着させる」作業が行え、受講生を合格まで導きます。

- ◆1・2次ストレート総合本科生 [全98回 + 2次スタートアップ演習 4回 + 公開模試 1・2次] 60 ページ →
- ◆1・2次ストレート本科生 [全91回 + 2次スタートアップ演習 4回 + 公開模試 1・2次] 56 ページ →
- ◆1・2次ストレート速修本科生 [全84回 + 2次スタートアップ演習 4回 + 公開模試 1・2次] 58 ページ →

3回転とは？

7科目を一通り学習することを「回転」と名付けました。
回転学習（繰り返しの学習）が知識を定着させ、合格を実現します！



4月までに「基本編」で合格に必要なインプットを終了し、7科目の学習を早期に1回転。



5月から「1次完成答練」で2回転目を学習、実践力をUP。



最後に「1次最終講義」で最終確認を行い、3回転目が終了。



とは、こだわりの80分演習&模試

本試験と同様の80分間の演習模試を実施します。もちろんすべてTACオリジナル新作問題です。

講師からのMESSAGE



進捗管理の 心配は無用です！

ツ ガ ヒロミツ
津賀 弘光先生（関西地区）

ストレートで合格することを念頭に置いたカリキュラムは、徹底したインプット講義を終えた後に、答練・演習などのアウトプットで試験対策を完成させていきます。長丁場の学習においては、進捗管理が合否を分けるといっても過言ではありません。TACのカリキュラムに沿えば、進捗管理は心配ご無用です。



TACのカリキュラムが戦略的である理由



ストレート合格を実現！

TACの「1・2次ストレート総合本科生」「1・2次ストレート本科生」「1・2次ストレート速修本科生」には、1次・2次試験にストレート合格するために必要な「講義」「教材」「フォロー制度」「ノウハウ」などが全て揃っています。他に手を広げることなく、TACのカリキュラムのみで学習いただけます。



早期に必要な知識を定着！

4月までに基本編の講義・答練を終了し、合格に必要な知識を習得します。早期に全体を把握し、2回転目がスタートすることで、「覚えなおす」「定着させる」期間を十分に確保できます。



充実の1次直前期！

5月上旬から、「1次完成答練」で2回転目の学習が始まります。1次直前期の答練で実践力が飛躍的にアップします。また、7月から「1次最終講義」で3回転目の学習が行え、万全の状態の本試験に臨めます。



徹底した2次試験対策！

1次試験対策と並行して「2次スタートアップ講義・演習」を実施。早期から2次試験対策に取り組みます。1次試験後の2次直前期のカリキュラムも充実しており、豊富なアウトプットで2次攻略スキルを習得します。



全国最大級の公開模試！

TACの公開模試は全国最大級規模。そのレベル・規模・フォローなどの全てにおいて自信を持ってお勧めできます。TAC公開模試受験者は、1次は4,664人（2012年度）、2次は2,743人（2011年度）を数え、多くの方々に支持されています。



2次口述試験対策も万全！

「口述対策セミナー」と「口述模擬面接」実施予定

TACでは、毎年2次筆記試験の問題を分析し、2次口述試験の出題予想を行います。口述対策セミナーや模擬面接も実施しますので、万全の体制で口述試験に臨むことができます。

※模擬面接は別途予約が必要です。



1・2次ストレート総合本科生



1・2次ストレート本科生、1・2次ストレート速修本科生

入門編（7回）

2012年
6・7・8月

アプローチ講義 〈7回〉

診断士試験では企業経営全般の知識が問われます。そこで試験全体の内容を確認し、企業経営で必須となる知識について、ケーススタディや一部ディスカッションなどを交えながら学習します。本格的な試験対策に向けた準備段階としてベースとなる幅広い知識を身につけることで、合格への道筋をつくります。

中小企業診断士1次試験、
2次試験の全容の把握

企業経営において特にポイントとなる
科目や論点の学習

- 企業とは何か（会社の機関、企業の種類）
- 経営戦略論（成長戦略、事業戦略、ゲーム理論）
- マーケティング（マーケティングマネジメントプロセス、ブランド戦略）
- 店舗戦略（店舗レイアウト、陳列）
- 生産戦略
- IT戦略
- 決算書（B/S、P/L、キャッシュフロー、経営分析）



※当カリキュラムは本試験の傾向に合わせ、一部変更となる場合があります。

※「1・2次ストレート総合本科生」のカリキュラムの受講をお考えで、教育訓練給付制度をご利用の方は、「1・2次ストレート本科生」と「アプローチ講義」を別々にお申込みください（「1・2次ストレート本科生」が指定対象コースです）。



基本編（56回） 2012年9月～2013年4月

基本講義〈47回〉

TACオリジナルテキストを使用し、徹底的にポイントを解説。試験合格に必要な知識を身につけます。1次試験対策だけではなく、2次試験対策において重要な領域については、さらに深く掘り下げた講義を行います。



- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 企業経営理論 …… 8回 | 5 経営情報システム …… 6回 |
| 2 財務・会計 …… 10回 | 6 経営法務 …… 6回 |
| 3 運営管理 …… 7回 | 7 中小企業経営・政策 …… 4回 |
| 4 経済学・経済政策 …… 6回 | |

1次養成答練〈7回〉

1次試験対策の答案練習です。本試験同様、選択式の問題を出題します。基本的な問題を出題しますので、確実に解答できるまで、繰り返し学習することが重要となります。また、選択式試験の形式に慣れることも重要です。



- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 企業経営理論 …… 1回 | 5 経営情報システム …… 1回 |
| 2 財務・会計 …… 1回 | 6 経営法務 …… 1回 |
| 3 運営管理 …… 1回 | 7 中小企業経営・政策 …… 1回 |
| 4 経済学・経済政策 …… 1回 | |



2次スタートアップ講義 〈2回〉

ストレート合格をより確かなものにするための講義です。2次試験とはどんな試験か、合格するために必要な要素は何かといった内容を解説します。



2次スタートアップ演習 〈4回〉自習用・添削付

2次試験対策の演習教材です。2次スタートアップ講義で学習したことを活かして、演習に挑戦してみましょう。



1次直前編（21回）

2013年
5月～7月 学習成果の確認

1次完成答練

〈14回〉

TAC厳選の本試験予想問題を出題します。これまでの学習の成果を確認し、本試験までの学習計画を見直しましょう。また、ここで間違えてしまった問題は、確実にマスターすることが重要です。

- | | | | | | | |
|----------------|---------------|--------------|------------------|------------------|--------------|-------------------|
| 1 企業経営理論 …… 2回 | 2 財務・会計 …… 2回 | 3 運営管理 …… 2回 | 4 経済学・経済政策 …… 2回 | 5 経営情報システム …… 2回 | 6 経営法務 …… 2回 | 7 中小企業経営・政策 …… 2回 |
|----------------|---------------|--------------|------------------|------------------|--------------|-------------------|



1次公開模試



受験者数
全国最大級

〈2日〉

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。受験者数全国最大級の規模で実施しますので、自分の実力を正確に測ることができます。

2013年は6月29日・30日を予定しています。

※2013年合格目標1・2次ストレート総合本科生、1・2次ストレート速修本科生は、1次公開模試の受験料がコース受講料に含まれております。

1次最終講義

〈7回〉

1次試験対策の最後の総まとめです。法改正などのトピックも交えた最新情報をお伝えします。

- | | | | | | | |
|----------------|---------------|--------------|------------------|------------------|--------------|-------------------|
| 1 企業経営理論 …… 1回 | 2 財務・会計 …… 1回 | 3 運営管理 …… 1回 | 4 経済学・経済政策 …… 1回 | 5 経営情報システム …… 1回 | 6 経営法務 …… 1回 | 7 中小企業経営・政策 …… 1回 |
|----------------|---------------|--------------|------------------|------------------|--------------|-------------------|



第1次試験

2013年8月



2次直前編（14回）

2013年
8月～9月

2次直前講義

〈2回〉

2次試験に備え、1次試験対策で学習してきた内容の整理と、2次試験に合格するために必要な考え方について講義を行います。



2次直前演習

〈8回〉

これまでに培ってきた「知識のメソッド」を活用して、本試験レベルの実践問題にチャレンジしてください。時間内に答案をまとめ上げる練習を繰り返すことが2次試験攻略の1つの鍵となります。



2次公開模試



受験者数
全国最大級

〈1日〉

本試験と同様の形式で実施する模擬試験です。受験者数全国最大級の規模で実施しますので、自分の実力を正確に測ることができます。

2013年は9月1日を予定しています。

※2013年合格目標1・2次ストレート総合本科生、1・2次ストレート速修本科生は、2次公開模試の受験料がコース受講料に含まれております。



2次最終集中特訓

〈4回〉

2次試験に確実に合格するための最終確認の事例演習です。これまでの演習等で多くの受講生が弱点としていた論点を中心に出題・解説講義を行っていきます。



第2次試験

2013年10月